

年頭のご挨拶



鹿児島市長

下鶴 隆央

令和四年の新春を迎え、謹んでお慶びを申し上げます。

鹿児島市医師会の皆様におかれでは、新型コロナウイルス感染症への対応に懸命に取り組んでいただきとともに、昼夜を問わず、医療の最前線でご尽力されていることに深く敬意を表します。

また、夜間急病センターの管理運営をはじめ、予防接種や健診、介護保険の認定、本市主催の各種協議会等への参画など、市政の各方面にわたり、温かいご理解とご協力を賜っておりますことに心より感謝申し上げます。

さて、今日、新型コロナはもとより、人口減少・少子高齢化の進行、ICT等新技術の進展、災害リスクの高まりなど、私たちを取り巻く環境は、大きく変化してきてあります。

そのような中、本市においては、今後十年間のあるべき姿と進むべき方向についての基本的指針となる「第六次鹿児島市総合計画」が本年四月からスタートいたします。

この計画では、人やまちの多様なつながりを深めることにより、新たな価値が生み出され、多彩な人材やまちの魅力が豊かな彩りとなる、人もまちも躍動する鹿児島市の創造を目指しております。

その実現のため、市民や地域団体、事業者など、あらゆる主体が課題を共有し、協働・

共創しながらまちづくりを進めるとともに、市民一人ひとりの人権や多様性が尊重され、個性と能力を発揮できる地域社会を築いてまいります。

健康・医療分野におきましては、体やこの健康づくりを推進するほか、各種健診の受診率向上や健康管理及び生活習慣病予防の支援、疾病を持つ人への地域生活支援など、保健予防の充実に取り組んでまいります。

また、市立病院と地域医療機関のさらなる連携により、質の高い医療を提供するほか、市民生活等における感染症予防策の定着を図るとともに、医療機関等との連携による健康危機管理体制の充実に努めてまいります。

本市といたしましては、引き続き皆様方との緊密な連携のもと、健康づくりや福祉サービスの充実に取り組むなど、子どもから高齢者まで、自分らしく健やかに暮らせるまちづくりを推進してまいりますので、今年も一層のご理解とご協力を賜りますようお願いいたします。

結びに、新しい年が未来への夢と希望の持てる素晴らしい年となりますことと、鹿児島市医師会のますますのご発展を心よりお祈り申し上げ、新年の挨拶といたします。